

平成27年度第1回千葉県県土整備公共事業評価審議会審議案件一覧

No	所管課	事業名 路線又は箇所名等	事業概要	評価の理由	審議結果
1	道路整備課	社会資本整備総合交付金 (道路事業) 主要地方道鎌ヶ谷本埜線	鎌ヶ谷本埜線は利根川沿線地域と千葉ニュータウン地区を結ぶ重要な道路である。現道部の狹隘区間やカーブの連続している未改良区間の走行性や安全性、利便性向上を目的として、バイパスの整備を行う。 ・総事業費 58.8億円 ・事業期間 H8～H31 ・事業延長 4.5km	②	継続
2	道路整備課	社会資本整備総合交付金 (道路事業) 主要地方道銚子海上線	銚子海上線は利根かもめ大橋から旭市を結び、茨城県と成田空港をつなぐ重要な道路である。現道部は幅員が狭い上、屈曲が多く急勾配となっていることから、これらの区間を回避して安全性・利便性の向上を目的として、バイパスの整備を行う。 ・総事業費 52.8億円 ・事業期間 H8～H31 ・事業延長 2.6km	②	継続
3	道路整備課	社会資本整備総合交付金 (街路事業) 船橋都市計画道路3・4・22号 西浦藤原町線外1線	西浦藤原町線及び柏井大町線は、船橋市の臨海部と市川市の内陸部を結ぶ幹線道路である。現道は主要地方道市川印西線とクランク状に交差しており、渋滞が慢性化し交通事故も多く発生している。また、歩道も狭くすれ違いがままならない状態であることから、走行性、安全性の向上や交通事故の減少を目的としてバイパスの整備を行う。 ・総事業費 69.5億円 ・事業期間 H13～H33 ・事業延長 1.2km	②	継続
4	下水道課	社会資本整備総合交付金 (下水道事業) 印旛沼流域下水道事業 印旛処理区	印旛処理区における生活環境の改善を図るとともに、印旛沼等の公共用水域の水質改善のため、12市1町の流域関連公共下水道から排除される汚水を受入れ、処理する幹線管渠及び処理場等の整備を行う。 ・総事業費 3,870億円 ・事業期間 S43～H56 ・処理区域面積 27,391ha ・処理人口 1,406,200人	②	継続
5	下水道課	社会資本整備総合交付金 (下水道事業) 手賀沼流域下水道事業 手賀沼処理区	手賀沼処理区における生活環境の改善を図るとともに、手賀沼等の公共用水域の水質改善のため、7市の流域関連公共下水道から排除される汚水を受入れ、処理する幹線管渠及び処理場等の整備を行う。 ・総事業費 2,310億円 ・事業期間 S46～H55 ・処理区域面積 12,102ha ・処理人口 657,700人	②	継続
6	下水道課	社会資本整備総合交付金 (下水道事業) 江戸川左岸流域下水道事業 江戸川左岸処理区	江戸川左岸処理区における生活環境の改善を図るとともに、江戸川等の公共用水域の水質改善のため、8市の流域関連公共下水道から排除される汚水を受入れ、処理する幹線管渠及び処理場等の整備を行う。 ・総事業費 3,820億円 ・事業期間 S47～H52 ・処理区域面積 20,417ha ・処理人口 1,421,100人	②	継続

- 【評価の理由】
- ① 事前評価：事業の計画段階において、事業着手の必要性や妥当性を評価するもの。
 - ② 再評価：事業採択後一定期間を経過した後も未着工である事業、事業採択後長期間が経過している事業の事業継続の必要性や妥当性を評価するもの。
 - ③ 事後評価：事業完了後の事業の効果、環境への影響等の確認を行い、必要に応じて適切な改善措置を検討するとともに、事業評価の結果を今後実施する同種事業の計画等に反映させるもの。